



森の息吹

No.168 6月号
2020. 6月2日発行
編集代表：五賀利雄
0133-26-3738

「そろそろ&そろりそろり」と

活動を再開していく予定です

新型コロナウイルスの影響により、当会の活動も、自粛を余儀なくされているところです。

今後、状況を見ながら、6月より作業開始の方向で進めていきたいと考えています。

協働の森の活動については6月7日より開始の予定です

シラカンバの活動は、3月開催予定であった総会も実施されておらず

今年度の活動計画予定も未定です。従いまして、6月の活動時に活動内容など

あれこれと話し合いを行いたいと思いますので宜しくお願いします

なお、まだまだ北海道においては特に札幌近郊では新型コロナウイルスの感染が収束したわけではありません。

社会的距離をとる、必要に応じてマスクを着用するなど、十分なウイルスの対策を講じたうえで活動の大幅縮小も視野に入れながら、出来るところから活動を進めたいと思いますのでご協力のほど重ねて宜しくお願いいたします。

編集者より ～与太話

6月になりました。近隣の農家では田植えもほぼ終わったようです。

我が家ではハウスでメロンを育てるべく準備を始めています

露地夏野菜は今年も規模を縮小し「ひたすらのんびり」で過ごす予定です。

ところで、自宅から600mくらいの農道にかかる橋の下でキタキツネが巣穴を作り、子育てに励んでいます

6匹の子ギツネたちは人間をさほど怖がることもなく



無邪気に道路で遊んでみたり、親きつねが狩りをした獲物（カモ）をむさぼり食べたりしています
しかし、無事に成長するのは1～2匹でしょうか

やがて親になり、我が家のトウキビ畑を荒らされては困るので
今のうちに手なずけておかななくては・・・。



地球温暖化が原因なのか？ここ数年の異常気象は自然の猛威をヒシヒシと感じさせられる。健康のため恒例になったインフルエンザワクチンの接種。

どのくらいの人がここ数ヶ月の状況を想像してだろうか。

各地域での行動範囲の縮小要請など受け止め方次第でかなり個人差はある。

日々の生活で心配する事、思い悩む事、目に見えない相手なのが厄介だ。

ウイルスに負けない為には免疫力を高めるのが一番とは言うが。

ストレスがかかる生活を考えると、反対のかからない方法は何か？

その1 やりたい事でも、無理なら諦める

その2 自分が解決出来ない事は考えこまない

その3 掃除など片付けは今出来る範囲で残しても大丈夫と思う

その4 疲れたと思った時は何も考えず休む

私のストレスのかからない方法です。

最近はお正月に今年やりたい事を並べる。

今年の目標はキャンプ・シーカヤック体験・山菜採りなど。

柔軟な身体を目指し、前屈運動で床に肘がつく身体、

会への参加回数の増。

目標として達成出来なくてもOK、気持ちがあればまた来年。

何事においても体調管理は万全な状態で活動に参加したい。



オシドリ夫婦

6月の活動案内

木に触れて 林で遊び 森と育つ

6月7日(日)

内容 協働の森 苗畑作業 苗畑での苗木の移植作業と活動区域の探索
場所と時間 山田倉庫 8:45で9:00までに土取り場跡地の苗畑に移動
作業は午前で終了ですが山田倉庫にて今年度の活動予定を話し合います
持ち物 スコップ 剪定ばさみ 弁当 飲み物

6月21日(日)

内容 140年の森 下草刈りと補植
時間と場所 山田倉庫に9:30集合
持ち物 腰道具、刈払い機、軍手など
弁当、飲み物

年会費 2000円 家族会員 3000円
活動時にご持参ください

